

第2回 病害虫発生状況調査結果

(7月14日実施)

美方郡広域事務組合

〔 病 害 〕

一部地域でいもち病の発生が見られましたが、特に問題はありません。

〔 虫 害 〕

本田でカメムシの発生が確認された地域もあり、また、本田で発生が見られなかった地域でも、畔で多くのカメムシが見られます。

数は多くありませんがセジロ・ヒメトビ等のウンカ類の発生が確認されております。

★ これからの注意点！

① 仕上げ防除は必ず実施しましょう！

仕上げ防除を実施することによって、セジロウンカ・ヒメトビウンカ等の防除にも効果が見込まれます。

畦畔・休耕田などイネ科の雑草が生えている場所ではカメムシが多く発生しています。今後気温が高い状態が続くと、カメムシの大幅な増加が懸念されます。

出穂後14日頃（籾から乳がでる時期）の防除を励行しましょう。

② 間もなく出穂！

生育状況は6月の低温の影響はあったもののほぼ平年並み生育状況となっており、出穂時期もほぼ平年並みと予想されます。

仕上げ防除もほ場の状況に合わせ、可能ならば周辺のは場と防除を実施する時期を合わせて下さい。

今年の夏は高温が予想されており、乳白米の発生が懸念されます。可能ならば、水を張って少しでもほ場内の温度を下げるようにしてください。